

# 法政就業力通信

## ～今月のさんぽ道～

法政大学  
「就業力を育てる3ステップシステム」  
プロジェクト  
<http://3step.hosei.ac.jp/>

就業力を育てる3ステップシステム

## 就職活動の不安にこそ、大学の学びは活かせる

特任教員 鈴木 美伸 (すずき よしのぶ)



年内の大学授業もわずかとなりました。「師走」とは本当によく言ったものですが、経団連の倫理憲章の改定以来、12月の街頭ではリクルートスーツ姿の学生までが走り回るようになりました。これまで熱心に授業に出ていた学生が、急に教室から姿を消して企業セミナーに飛び回っています。マスコミの大量な情報に煽られては如何ともし難いですが、こんな未知の課題に対処しなければならない時にこそ、大学での学びは活かせるものです。

### 不安の原因は？

どこの大学の授業でも、「就職活動に不安な人は？」と尋ねると、ほとんどの学生が手を挙げます。しかし面白いことに、「では、その不安の原因は？」と尋ねてみると、意外にも回答できる学生は少数です。大学の学びで言えば、リサーチクエストが見えていないのに、どうすべきかと悩んでいるのと同じです。

まずは、不安の原因を考えてみてから不安になって欲しいものです。実際、就職活動における学生の不安を整理・分析してみると、主に以下の3点です。

- |                |         |
|----------------|---------|
| 1. 何がおきるかわからない | ⇒「知識」不足 |
| 2. 自分だけが出遅れている | ⇒「仲間」不足 |
| 3. 悩んでばかりいるから  | ⇒「行動」不足 |

### 不安に対処する

こうして不安の原因がわかれば、対策はたてられます。「知識」が無いなら文献・統計・インタビュー調査を行い、自分だけでは不足なら「仲間」を作って助け合えば良いわけです。その共同作業の中から、悩んでいるのは自分だけではないんだ、と安心もできます。

意外と盲点なのが、悩みすぎているから不安になることです。これに対処するには、脳を「感情」では無く「思考」で使うことです。言われて初めて気づく学生がほとんどですが、人間は「悩む(感情)」と「考える(思考)」を同時にはできないものです。つまり、悩む原因を徹底的に考え抜けば、不安は減ります。体を使った具体的な行動にできれば、さらに不安の入る余地はなくなります。

### 大学生の原点に戻す

良き「知識」「仲間」「行動」、これらは皆、大学生活の場で得られるものです。むしろ、この3つにあふれているのが大学生らしさであり、大学の楽しさでもあったはずですが、どうも最近はその原点を見失ってきているようです。大学は就職予備校ではありません。しかし、就職活動ごとに対応できないような大学生にはさせないように、来年もしっかりと学生を鍛えていきたいと思えます。

### 略歴

84年成城大学法学部卒。

日米ハイテク企業での営業・人事を経て人事コンサルタントとして独立。キャリアカウンセラー資格取得後は多くの大学でキャリア論の講師を務める。

e-mail:

[ysuzuki@stage41.com](mailto:ysuzuki@stage41.com)

[yoshinobu.suzuki.88@hosei.ac.jp](mailto:yoshinobu.suzuki.88@hosei.ac.jp)

研究室は新見附校舎2F



**略歴** 84年名古屋大学大学院卒。  
京都大学博士(経済学)。84~89年  
京都大学経済研究所助手、90~97  
年滋賀大学経済学部助教授・教授。  
97年~03年法政大学経営学部教  
授、04年~IM研究科教授。

## 催事販売型インターンシップの準備が本格始動

教授 藤村 博之 (ふじむら ひろゆき プロジェクトリーダー)

今年度の新しい試みとして、催事販売を実施する予定です。商店街と協力して販売スペースを確保し、学生に市場調査をさせて何を売るかを決め、店舗設計や実際の販売、最終の決算までを体験させるのが催事販売型インターンシップです。

先日、東京家政大学が確保してくださっている十条銀座商店街の店舗に伺い、事務局長と他大学の方々を交えた打合せ会を行いました。十条駅前には4つの商店街があり、なかなか活気のあるところ。商店街のつくりは昭和の香りを残しており、老舗のお菓子屋さんや商店もたくさんあって、とてもいい感じの場所でした。

今回は、目白大学が確保してくださる中井商店街でも店舗を出すことになります。3月の実施に向けて準備が本格化します。この誌面でも適宜ご紹介する予定です。



**略歴** 法政大学大学院経営学研究科  
キャリアデザイン学専攻(修士)卒業  
後、法政大学大学院政策創造研究科  
博士後期課程に進学。  
2011年3月、同博士課程中退。

## やりなおしの次は、研究発表会

特任教員 白井 章詞 (しらい しょうじ)

「キャリアデザイン演習」(対象:1年生)では、受講生が「キャリア」というキーワードを使って、課題研究に取り組みます。フリーター研究、主婦の研究、転職や転職の研究・・・、提出された課題は、どれも読みごたえがあります。ただ、私が読んでいて疑問に感じたこと、おかしいと思ったこと、それらは遠慮なくレポートに朱書きしていき、翌週には全員に返却しました。もう一度、考えて欲しいと思ったからです。大学の課題とはいえ、調査を依頼された方々からすれば、色々な思いを抱きながら過去をお話されたことでしょう。学生たちが聞きとってきたメモのなかには、まだまだメッセージが隠れているように思うし、自分が書いた文章も時間が経てば粗が見えてくるものです。調査にご協力いただいた方に感謝しながら、今一度じっくり課題と向き合ったのち、授業内で研究発表会を行う予定です。



**略歴** 70年慶応義塾大学経済学部卒。  
70~06年伊藤忠商事(株)勤務、06~11  
年帝京大学と法政大学職員。  
11年~法政大学教員

## 「営業」で基本を身に付ける

特任教員 有田 五郎 (ありた ごろう)

昨年度に制作した教材DVD「ハタラクチカラ」「営業部物語」を使っただけの授業で教えることのひとつに「営業」を理解させることがある。学生達はいわゆる新規開拓営業または個人への売込み(BtoC)を念頭に、自分は営業なんて出来ないと思込みしがちである。しかし、実態はルート営業(BtoB)が大半。

そこで、カリスマ営業マンは何に長けているかを考えさせる。そして実は「聴く力」と実例を挙げて説明する。どの業種・どの会社でも営業を経験する中から、自社の商品・自社の組織や現場の実態・お客様を知って成長することが求められる。その先に企画や人事など自分がやりたいことへの道が開けるのである。学生達にまず営業職へ挑戦する気概を持って欲しい。そうすれば、目指す求人案件数はぐっと増えるはずである。

### ◆ 催事販売型インターンシップ参加者募集開始

来年より新しいプロジェクト「催事販売型インターンシップ」が始まります。連携7大学(昭和女子大学・女子美術大学・東京家政大学・明治学院大学・目白大学・東京家政大学短期大学部)から参加者を募り、チームを結成します。普段接点のない分野を学ぶ学生たちとお互いに知恵を出し合い、協力しながら一丸となって取り組みます。色々な問題に直面し、スムーズにいかないこともあるかと思いますが、最後の体験発表会では「素晴らしい経験になった」と思ってもらえるようなプロジェクトとなるよう、事務局も陰ながらサポートしていきたいと思ひます。

### ◆ 編集後記

藤村先生と一緒に十条商店街に東京家政大学が確保しているスペース、その名も「和(なごみ)」に行ってきました。現在は東京家政大学が「ピンクリボン運動」関連の企画を行っています。駅からも近いのでぜひお近くの方は立ち寄ってみてはいかがでしょうか。「和」ではこれから店舗催事販売型インターンシップを始めとした大学間連携の試みを実施していきたいと関係者一同はりきっています。特に地元東京家政大学の意気込みは、陣頭指揮の岩井さんを始めとしてすごいです。こちらも負けずに頑張りたいと思ひます。なお、近々、法政の箱根駅伝応援コーナーも設置していただく予定です(あくまでも予定ですが(笑))。ちなみに「和」で「法政」の名を3回唱えると「法政グッズ」がもらえるかもしれません?!

「就業力を育てる3ステップシステム」プロジェクト (事務局:学務部教育支援課)

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

TEL:03-3264-9520 WEB:<http://3step.hosei.ac.jp/>

就業力を育てる3ステップシステム